正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

9月号 2023



今月10日に発生したリビアでの洪水により、多くの死者、行方不明者が確認されています。避難を余儀なくされている人々も多く、ICRCは、リビア赤新月社と協力し、緊急支援をおこなっています。食料や医療品の提供に加えて、洪水によって地雷や爆発性戦争残存物が流出し、さらなる犠牲者が出ることのないよう調査も実施。また、遺体の尊厳の確保や遺体袋の提供もおこなっています。日本赤十字社が受け付けている「2023年リビア洪水救援金」は、ICRCの現地の活動にも充てられます。

動画で見る現地の状況









「2023年リビア洪水救援金」サイト（日本赤十字社HP）

最新の投稿をチェック

【目次】

紛争の現場から
・アルメニア／アゼルバイジャン：“ナゴルノ・カラバフ”の危機～「自分ならではの人生を送りたい」
・ミャンマー：「好きなだけ水が飲める！」
・スーダン：解放された子ども30人のこれから

世界のトレンド
・教育を攻撃から守る！学校保護宣言とは？

日本人に知ってもらいたい！
・フェイク情報にご注意！～捕虜の処遇に関する誤情報

駐日代表部だより
・駐日代表「現場の活動で再確認したICRCの真髄」

紛争の現場から



アルメニア／アゼルバイジャン：“ナゴルノ・カラバフ”の危機～「自分ならではの人生を送りたい」

アルメニアとアゼルバイジャン間の係争地、いわゆる“ナゴルノ・カラバフ地域”で９月19日に戦闘が激化。翌日に停戦合意に至ったものの、戦闘の影響により、支援が追い付いていません。私たちはこれまでも、中立かつ人道的な仲介者として地元の人たちの生きる力に寄り添ってきました。

食卓を囲む前に砲撃を受け、目の前で母親を亡くした少女。避難先のイラクからアゼルバイジャンへ帰還した後も、トラウマに苦しめられていました。少女は、希望の曲を奏で、苦しみや恐怖の記憶に立ち向かう強さを見出します。

「夢は、ギターの先生になること」



ミャンマー：「好きなだけ水が飲める！」

ミャンマー北部カチン州における給水システム事業によって過去５年間、遠隔地にいる住民や紛争の影響を受けた11,000人超に清潔な水を提供してきました。地元の人たちも一緒

生活向上のカギは清潔な水へのアクセス



スーダン：解放された子ども30人のこれから

９月中旬、スーダン軍から解放された30人の子どもたち。今後は、子どもたちの身の上の把握に努め、家族との再会に導きます。

「今回解放された子どもたちは、何より紛争の被害者です」

世界のトレンド

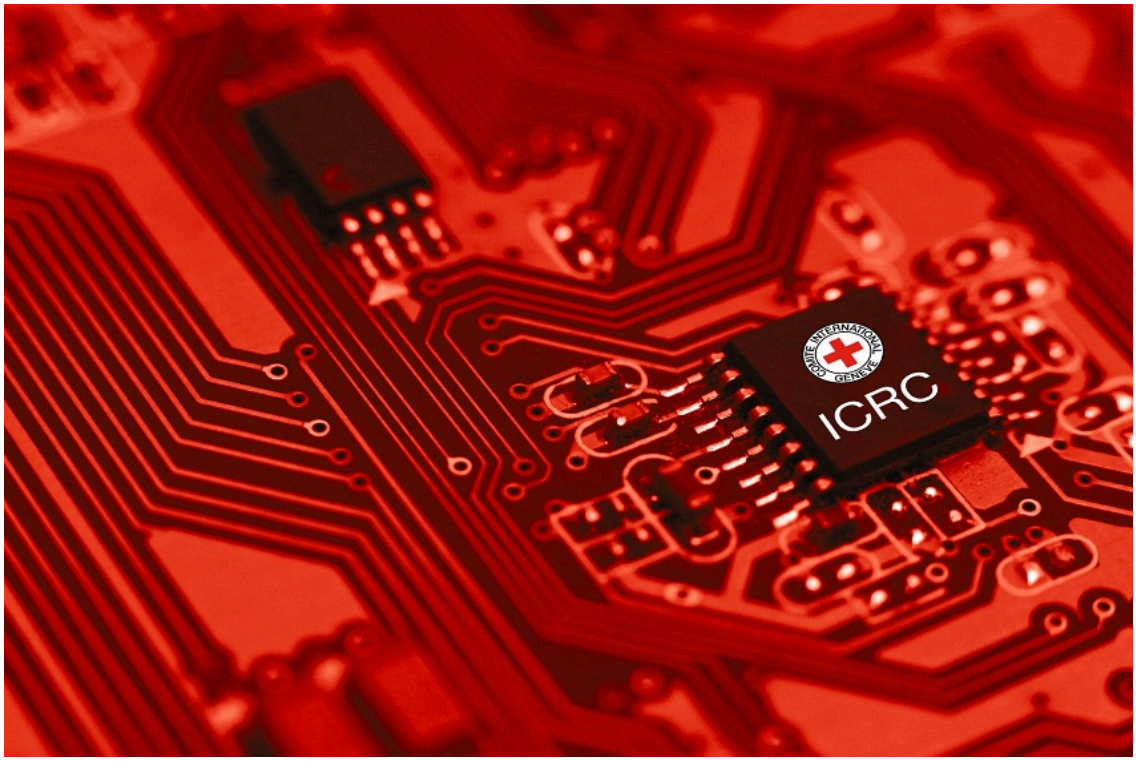


教育を攻撃から守る！学校保護宣言とは？

９月９日は、教育を攻撃から守る国際デー。紛争下における教育の保護は、ICRCにとって欠かせない活動のひとつです。

教育を保護するためのルールについて知る

日本人に知ってもらいたい！



フェイク情報にご注意！～捕虜の処遇に関する誤情報

ICRCの捕虜訪問をめぐって、ソーシャルメディア上に誤情報が出回っています。捕虜に対する虐待はジュネーヴ第三条約で一切禁止されていて、いかなる虐待も許されるものでは

ICRCの声明全文はこちら

駐日代表部だより



駐日代表「現場の活動で再確認したICRCの真髄」

2023年６月に、11年ぶりの日本人代表が誕生。ICRCでの任務で赴いたウクライナやエチオピアでの経験を振り返りながら、今、日本でできることについて話しています。

厳しい状況の中でも届け続けるHumanity(人道)

その他のニュースはこちら

E-newsletter のアーカイブはこちら

© 2023 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS


INTUIT
mailchimp